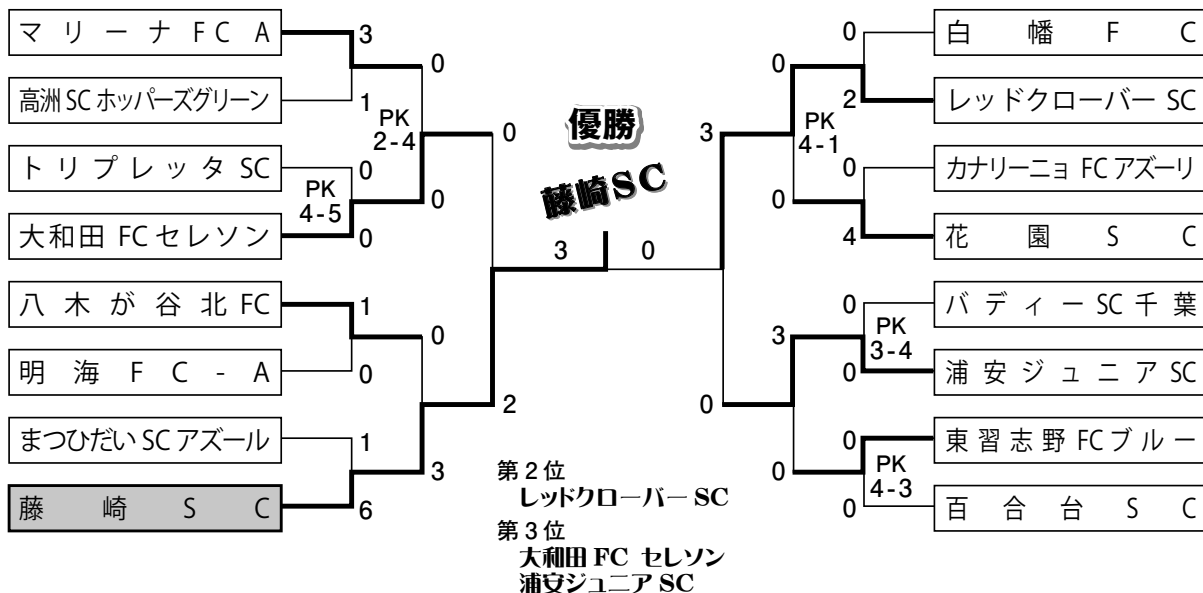


第32回千葉県少年サッカー選手権 5年生大会

試合結果



Final

藤崎SC 3-0 レッドクローバーSC

梅雨とは思えない真夏の日の中、藤崎SCのキックオフで決勝戦が始まった。

両チーム共4-4-2の布陣で、個人技から組立てる藤崎SCに対して、体を張ったディフェンスからのカウンターで攻め込むレッドクローバーSCの展開でスピード感あふれる試合となった。開始早々、風下から攻める藤崎SC10番持田君、11番柏加屋君が立続けにシュートを打つが、レッドクローバーSC、GK吉野君が落ち着いてセーブ。カウンターからレッドクローバーSC11番飯田君がゴールを狙うが惜しくも外れる。開始から3分、両チーム共に落ち着き始めた中、攻守の切り替えが早い試合展開となった。藤崎SCは10番持田君を中心に攻め込むが、レッドクローバーSC16番松井君を中心に体を張ったディフェンスで、お互いに決定機を奪えず試合が進む中、7分過ぎから藤崎SCがペースを掴みはじめた。藤崎SC5番宮川君の視野の広さを活かしたスルーパスからチャンスを出しているがゴールが奪えず、逆にフリーキックからレッドクローバーSC14番牧野君がハーフライン付近から強烈なシュートを打つがゴールを奪えず。続けて、レッドクローバー77番塚越君の巧みなドリブルから14番牧野君を狙うがキーパー正面でゴールならず。13分、藤崎SCにフリーキックのチャンス。10番持田君を狙うが、これもキーパー正面でゴールならず。前半はお互いにチャンスを決める

ことができずに終わるかと思った17分、藤崎SCが再びフリーキックのチャンス。7番中北君がハーフライン付近から蹴ったボールは、レッドクローバーSCディフェンスの裏に出た瞬間、9番船越君のヘディングシュートがネットを揺らし、藤崎SCが先制。【1-0】

前半終了間際の20分、レッドクローバーSC77番塚越君の折り返しを16番松井君がダイビングヘッドでゴールを狙うが惜しくも外れる。

同点に追いつきたい風下のレッドクローバーSCキックオフで後半開始。後半3分、レッドクローバーSC14番牧野君が巧みなドリブルで2人をかわしてミドルシュートを打つがゴールならず。藤崎SCは、6番田所君の的確なカバーリングでピンチを消し、攻撃に繋げていた。同点にしたいレッドクローバーSCはカウンターから藤崎ゴールを目指し、球際の攻防に厳しさが増してきた。

このまま試合終了と思った19分、藤崎SC7番中北君のシュートが、こぼれたところに13番吉田君が押し込み追加点【2-0】さらにアディショナルタイム、藤崎SC11番柏加屋君がハーフライン付近から個人技で運びシュート、混戦の中10番持田君がシュートで追加点【3-0】

この結果、3-0で藤崎SCの優勝となる。終始、藤崎SCの個人技に対し、粘り強く体を張ってカウンターを仕掛けたレッドクローバーの試合展開だったが、2試合目とは思えない攻守の切替えの早さ、ゴールを奪う意識があった試合だった。

東関東大会及び今後の大会に更なる向上が期待できる熱戦となった。

(第7ブロック技術委員/伊東 雄一 記)

SemiFinal 1

藤崎SC 2-0 大和田FCセレン

晴天ではあるが強い風が吹いているなか、藤崎SC（以下、藤崎）のキックオフで準決勝第一試合が始まった。両チーム共、4-4-2の布陣である。序盤から藤崎はセンターに配置した選手の強みを生かして中央突破を狙う。一方、大和田FCセレン（以下、大和田）は中盤で奪ったボールをサイドに展開するサッカーで応戦する。試合開始直後は互角の展開であったが、5分を過ぎたあたりから大和田がペースをつかむ。8分、大和田①笹澤君が左サイドから中央へパスを送り、⑤君波君がゴール前に飛び込むも惜しくもオフサイドとなる。9分、大和田⑩大曾根君からのパスを⑨小林君がダイレクトでシュートを放つが惜しくもゴール右側に外れる。

10分くらいまで大和田が押し込む時間帯が続いたが、大和田が押し込むにつれ、藤崎⑥田所君の正確なカバーリングと⑤宮川君のボール奪取力が目立ち始める。11分、藤崎⑨船越君が中盤からのクサビを受け、テンポよくステップを踏んで正面を向くと左足で放ったシュートはゴール右に決まり藤崎が先制。先制点奪

取の後、藤崎が一気にペースをつかむ。12分、⑤宮川君、⑩持田君が立て続けにシュートを放つもゴールを割ることはできない。15分、藤崎⑩持田君から⑨船越君にボールが渡り左足でシュート、キーパーの手をはじきゴールに吸い込まれ藤崎が2点目をあげる。この後も藤崎ペースで前半が終了。

後半は互角の展開で試合が進行する。

後半4分、藤崎⑨船越君が先制点と同じ場面を作り出し、シュートを放つが今度は大和田①G K 飯田君がファインセーブ。5分、大和田、コーナーキックを⑤君波君が落とし、④中山君がシュート、惜しくも左に外れる。9分、藤崎⑪粕加屋君と⑩持田君が1本ずつシュートを放つが双方ともゴール右側に外れる。10分、大和田⑥米田君が中盤でボールを奪い絶妙なスルーパスを送るも惜しくもオフサイドとなる。17分、大和田ゴール左20m付近で得たフリーキックを⑬春原君が直接狙う惜しくも右に外れる。この後、タイムアップまでは大和田が押し気味に試合を進めるもゴールを奪うことができず、タイムアップ。

2対0で藤崎SCが決勝進出を決めた。両チーム共に、持ち味を出しあった試合であったが、前線の決定力の差が勝敗を分けた結果となった。

(第7ブロック技術委員/坂本 啓 記)

SemiFinal 2

レッドクローバーSC 3-0 浦安ジュニア7SC

強風が続くなか、準決勝の第2試合がレッドクローバーSC（以下、レッドクローバー）のキックオフで始まった。両チーム共に4-4-2の布陣、立ち上がりはお互いに相手の様子を伺う様な静かな展開で進行する。

レッドクローバーは中盤から大きな展開を、浦安ジュニアサッカークラブ（以下、浦安）は右サイドからのドリブル突破を仕掛ける。浦安の中盤のポゼッション率が徐々に高くなり始めた4分、浦安⑩高濱君がミドルシュートを放つもゴール右に外れる。その後10分までは浦安のペースが続いた。しかし、11分レッドクローバー、右コーナーキックを⑭牧野君がファーポストまで蹴り、⑯松井君がタイミングよく合わせて先制点を得る。12分、浦安⑪川野君が中盤からの長いパスを受

けて強烈なシュートを放つも、レッドクローバーGK 40 吉野君がファインセーブ。その後は互角の展開で前半が終了。

後半開始早々の1分、レッドクローバー⑭牧野君の強烈なミドルシュートがゴールに突き刺さり2点目。3分、浦安、⑪川野君と⑦竹内君がシュートを放つも何れもゴールを奪うことはできない。浦安がペースをつかみ始めたと思われたが6分、レッドクローバー⑯松井君が中盤からミドルシュートを放ち、3点目を獲得する。10分を過ぎたあたりから浦安の足元へのダイレクトパスが通り始め、中盤を支配する。その後試合終了までの間、終始浦安のペースで試合が進行するが、得点を奪うことができずに試合終了。

レッドクローバーが決勝進出の切符を手にした。浦安は試合終盤のサッカーをもっと早い時間帯から展開できていたら、結果は違っていたかもしれない。両チームの今後の更なる成長を期待する。

(第7ブロック技術委員/坂本 啓 記)